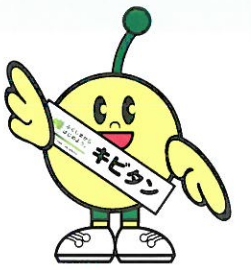


未来をつくる子どもたちの 豊かなこころをはぐくむために



第6次福島県総合教育計画の基本理念

“ふくしまの和”で奏でる、 こころ豊かなたくましい人づくり

県では、教育理念の実現をめざして、ふくしまの子どもたちの教育に取り組んでいます。

平成23年3月、本県は、東日本大震災・原子力災害により深刻な被害を受けました。あのような未曾有の大災害の中にあっても、秩序や礼節を失わず冷静に行動する人々の姿に、世界中から称賛の声が寄せられたことは、まだ私たちの記憶に新しいところです。

様々な方々から援助をいただいたり、互いに支え合い助け合いながら困難や喜びを分かち合ったりする中で、私たちは、たくさんのあたたかいこころに触れ、改めてこころの豊かさの重要性を実感しました。

平成27年3月に学習指導要領の一部が改正され、これまでの「道徳の時間」が、小学校では平成30年から、中学校では平成31年から、「特別の教科道徳」（道徳科）となり、教科として位置付けられます。

道徳教育は、これまで、また、これからも、こころ豊かな人づくりの要になるものです。今期より発行する道徳教育リーフレットでは、今、学校ではどのような道徳教育が行われているのか、今後「道徳の時間」が教科になることで、何がどのように変わるのかなどをお伝えしていきます。

未来をつくる子どもたちの豊かなこころをはぐくんでいくために、学校を中心にして、家庭や地域のみならずと協力していきたいと考えています。

ふくしま道徳教育推進プラン 道徳教育推進校

県内7つの小・中・高等学校を道徳教育推進校とし、地域に根ざした道徳教育を進めています。これら7校は、各地区の拠点校となって、授業の研究公開や先生方の研修、講演会などを行っています。

- (県北地区) 福島市立北信中学校
- (県中地区) 須賀川市立第三小学校
- (県南地区) 鮫川村立鮫川小学校
- (会津地区) 福島県立大沼高等学校
- (南会津地区) 只見町立只見小学校
- (相双地区) 相馬市立中村第一中学校
- (いわき地区) いわき市立小川中学校

各学校では、「道徳教育推進教師」を中心に、さまざまな取組が行われています。また、道徳の時間は、主として学級担任の先生が行いますが、校長先生や外部から招いたゲストティーチャーが参加することもあります。そこで、今回は、道徳教育推進教師と校長先生の実践を紹介します。

「道徳教育推進教師」は、各学校の全ての教師が協力して道徳教育を進めていく上で、中心的な役割をになっています。

〈道徳教育がめざすもの〉

よりよく生きるための基盤
となる道徳性を養う



糸を紡ぐ

須賀川市立第三小学校 道徳教育推進教師 伊東 伸也



大病の後遺症で身体にハンディキャップを持つ私にとって、糸を使う裁縫は最も苦手なことの一つですが、4月に着任し、道徳教育推進教師の任をいただいた私が取り組んだことは、まさに、学校の教育活動というそれぞれの糸を紡いでいくことでした。

まず、教育計画を熟読し、年間の学校の動き、本校の特色の理解に努めました。すると、「須賀川モデル」として実践を重ねている小中一貫教育（花王スクール）や東洋一を誇る牡丹園をベースにした各種活動など、様々な学習活動が見えてきました。そこで改めて、道徳教育という糸と、教科を含めた様々な学習活動という糸を紡いでいくことは、すなわち、それぞれの先生方が「道徳」を通じて結び付いていくことだと感じました。

こうして一人一人の先生方の貴重な経験値や実践を生かしたマンパワーに裏打ちされ、本校の教育計画がさらに進化・充実したことは、大きな財産になったと思います。

糸を紡ぐお手伝いが私の役割だったのではないかと考えているところです。



全校集会における校長講話の実践 ～校長の道徳授業として～

田村市立要田小学校 校長 大河原久宗



校長として、子どもたちの前で話をする機会はたくさんあります。入学式や学習発表会などの学校の諸行事での挨拶や話は目的が明らかですが、全校集会での校長講話は月に1回で基本的にはテーマも方法も自由に考えることができます。そこで、私は、全校集会での校長講話を「校長の道徳授業」の大切な機会ととらえ、「子どもたちの心に届き、心に残り、実践につながるように伝えたい」と実践してきました。小学校は、年齢に幅があり、個々の理解力にも話を聴く集中力にも差があります。そこで、次の4点を工夫しました。①講話の工夫：パワーポイントによる資料提示と資料配付 ②事後掲示の工夫：資料を校長室前に掲示 ③感想用紙の準備：A4 1枚の感想用紙を準備し、感じたことや考えたことを素直に表現 ④家庭への働きかけ：学校だよりを作成し、家庭へも話題提供（今後）

最後の道徳授業は「卒業式」を考えています。平成27年度の実践を紹介します。
○4月：「はじめの一步」（星野富弘） ○5月：「ありがとう」（本田美奈子）
○7月：「いのち・生きる」（東日本大震災） ○9月：「天国からの年賀状」（敬老の日）
○11月：「正義」（アンパンマン）

家庭や地域社会等との連携を図りながら開かれた道徳教育を推進するために、授業参観等で積極的に道徳の授業を公開することを推進しています。